

【資料1】

第17回 阪神高速事業アドバイザリー会議 議事概要

1. 日 時：2024年11月27日（水） 16:00～17:30
2. 場 所：本社8階第1・第2会議室
3. 出席者：浦西委員、河合委員、正司座長、関委員（代理出席）、松坂委員
(50音順)
4. 議事要旨：
 - 「議事(1)第15・16回議事概要」について説明。
 - 「議事(2)2023年度決算報告」「議事(3)2024年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。
 - *経路選択に必要な情報を運転中でも確認できるようにすることで、適用対象となる広域な迂回ルートを選択しやすくなるのではないか。情報提供のあり方について検討していただきたい。
 - *LINE公式アカウントについて、LINEは今や生活の基盤となっているようなツールといえるため、様々な情報を手軽に確認できるようになった。引き続きLINEを活用した情報発信の取り組みを進めていただきたい。
 - *ETC2.0の普及に関する取り組みについて、各施策の実用化前には実験と検証を行い、ETC2.0の普及による効果を公表することも検討していただきたい。
 - *阪神高速が進める事業についても万博レガシーの一環として、万博開催後において、いかに社会へ実装するかという観点でも取り組んでいただきたい。
 - *経験したことのないような自然災害が頻発する状況を踏まえ、現在の基準から更に一步進んだ対策を講じる必要がないかといった視点を常に意識して検討していただきたい。
 - *その他、万博期間中における交通円滑化、更なる交通安全の啓発、誤進入対策等に関して質疑応答があった。

—以 上—

【資料1】

第18回 阪神高速事業アドバイザリー会議〔現場視察〕
実施概要

1. 実施概要

- 1) 開催日: 2025年4月23日 (水) 14:00~17:30
- 2) 視察場所: 港大橋及び災害対策本部室
- 3) 出席者: 井上委員、浦西委員、河合委員、正司座長、松坂委員 (50音順)

2. 開催状況

①港大橋

現地を視察しながら概要及び地震対策を説明。災害対策本部室にて橋梁点検台車 (Dr. RING) について説明。

②災害対策本部室

災害対策本部室の概要説明後、各機能について視察。



〔港大橋 視察状況〕



〔災害対策本部室 視察状況〕

また、現場視察後に意見交換会を行い、委員より以下の意見が出された。

- *Dr. RINGの技術を他に応用し、維持管理に活用することが理想と考える。技術を展開することで最大パフォーマンスを発揮できる工夫があると良い。
- *災害時における初動活動には多くの情報を集約することが重要になる。社員が被害状況をシステムへの入力する際に躊躇しないような仕掛けを検討してはどうか。
- *本社に甚大な被害があった場合、災害対策本部を設置する拠点は本社から離れた場所にすることで更なる冗長化が期待できる。
- *地震発生時の体制を決定する際には、被害状況を適切に把握したうえで判断できるよう引き続き検討いただきたい。
- *災害対策本部室の仕組みには電力が欠かせないため、有事に必要な電力が確保できるよう引き続き対策していただきたい。